

特定非営利活動法人

建築設備コミッショニング協会

(Building Services Commissioning Association)

第20期通常総会資料

【1】法人の概要

【2】議事資料

第1号議案「第20期事業報告及び収支決算に関する事項」

第2号議案「第21期事業計画(案)及び予算(案)に関する事項」

第3号議案「役員の変更に関する事項」

【3】報告事項

日 時：2024年5月21日（火）13:30～

場 所：TKP 新橋カンファレンスセンター ホール 15C

（同時 Web 配信）



特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会

【1】法人の概要

名称：特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会
(Building Services Commissioning Association, BSCA)

設立日(設立総会) : 2004年3月19日
法人成立(内閣府) : 2004年8月9日
法人登記完了 : 2004年8月25日
名古屋事務所登記 : 2004年9月1日
事務所登記変更
従たる事務所設置
東京 : 2007年6月26日
京都 : 2007年6月26日
主たる事務所移転 : 2007年6月28日
従たる事務所移転
兵庫 : 2010年5月19日
主たる事務所移転 : 2013年5月15日
従たる事務所廃止 : 2013年5月15日
主たる事務所移転 : 2015年7月7日

役員

理事長 柳原隆司
副理事長 赤司泰義
理事 伊藤英明、大石晶彦、上谷勝洋、奥宮正哉、浅利直記、澤地孝男、
南部博之、田上賢一、西山満、松下直幹
監事 高瀬知章、高橋直樹

会員数 (2024年3月31日現在)

個人正会員 222名
賛助会員 36団体 (内 大学 6校)、特別会員 6名

委員会組織

- ・企画・運営委員会：協会運営、普及啓発戦略立案、講演会・シンポジウムの企画、
広報活動、会員増強
- ・認証検討委員会及び資格判定委員会：認証制度検討、資格制度検討、資格研修会・講習会運営、
資格認定、資格登録
- ・事業委員会：研究調査、先導的Cx事業受託、Cx費用ガイドライン検討
- ・技術委員会：技術支援、Cxプロセス・ツール研究

賛助会員一覧 (2024年3月31日現在)

財団法人

ヒートポンプ・蓄熱センター

企業

アズビル、エネゲート、大阪ガス、大林組、関西電力、
関電エネルギーソリューション、九電工、きんでん、きんでんスピネット、三機工業、
三建設備工業、三晃空調、JR 東日本ビルテック、新菱冷熱工業、ソーワエンジニアリング、
ダイキン工業、大成建設、ダイダン、高砂熱学工業、東京ガス、
東京電力エナジーパートナー、東京都市サービス、日建設計総合研究所、日本設計、
日本ファシリティ・ソリューション、三菱重工サーマルシステムズ、Meinhardt Japan、
森村設計
(五十音順)

大学

京都大学、東京大学、名古屋大学、中部大学、立命館大学、神戸大学(入会順)

官公庁

神奈川県立近代美術館

【2】議事資料

第1号議案「第20期事業報告及び収支決算に関する事項」

2023年度事業報告（2023年4月1日から2024年3月31日まで）

1. 事業の成果

人材育成事業については、CxPE（性能検証技術者）資格研修会の東京での開催を企画し、10名の受講者が参加した。すべての受講者を修了試験にて合格と判定した。現在、CxPE登録者の総計は108人である。CxTE（性能検証専門技術者）講習会はオンライン開催にて行い、33名が受講した。全員が全ての講義を受講してCxTEの講習修了証を授与した。CxTEの技術者登録は現在68名である。なお、Cxを業務として実施する組織（CxF: Commissioning Firm）の登録は1社の新規登録があり、現在7社となった。

設立20周年記念となる事例シンポジウムを中部、東京、関西で開催した。中部では2024年1月26日にBSCA設立20周年記念シンポジウム in 中部「ビル用マルチパッケージ型空調の適正な設計とコミッショニング」についての講演を行い、適正な個別分散空調システムの設計とCxの必要性を確認した。会場参加とWEB併用のオンライン開催として72名（内WEB38名）の参加があった。東京では2024年2月16日にBSCA設立20周年記念シンポジウム in 東京「コミッショニングの推進を目指して」と題して、設計事務所やインハウスエンジニアといった立場からコミッショニングに携わった方々を講師に迎えて、「コミッショニング事例」について講演を行い、53名（内WEB18名）の参加があった。関西では2024年3月1日にBSCA設立20周年記念シンポジウム in 関西「コミッショニングの推進を目指して」を開催し、75名（内WEB25名）の参加があり、盛況なパネルディスカッションとなった。

総会は、実会合形式で行った。付帯行事の講演会では、環境省大臣官房環境経済課・鎮西 武氏および県立広島大学・小林 謙介准教授を招き講演していただいた。総会後の技術交流会も開催し、会員間の交流を深める場となった。

性能検証普及事業については、民間の建築オーナー団体に対してCxプロセスが有効であることを薦める「コミッショニング紹介資料（オーナー向け）」をリバイスし、ホームページへの掲載を行った。コミッショニングレターの発刊など、例年通りの広報活動も実施した。

調査研究及び技術支援事業については、昨年同様、IBECs「住宅・建築分野の省エネ・省CO₂・環境技術体系確立を目指す研究開発プロジェクト初期調整委員会」に当協会から参画し、Cx手法を適用した業務用建築物の省エネルギーの新たな評価手法の検討を行った。また、国際交流では、2023年6月に開催予定（中国・深圳）で準備を進めていたが、諸般の事情で開催できなかった。他方、国際エネルギー機関IEAの研究活動である、IEA/EBC/Annex81:「Data-Driven Smart Building（データ駆動型スマートビルディング）」の日本委員会に当協会から幹事委員を派遣し、研究支援を行った。

基準の制定及び検証事業については、2016年度に当協会が発刊した「建築設備コミッショニングマニュアル」の改訂を新体制の委員会を結成して行うと共に、次世代を担う新任の編集委員の参画を求めて、改訂第4版の編集作業を行った。

共催・協賛事業については、ASHRAE日本支部講演会ASHRAE Japan chapter Distinguished Lectureを共催した。空気調和・衛生工学会ガイドライン説明会「SHASE-G0023-202建物エネルギーシミュレーションツールの評価手法に関するガイドライン」、地中熱利用促進協会主催の全国地中熱フォーラム等の後援を前年度から継続しCxの発展に寄与した。

事務局WGでは、引き続き事務局体制の整備を行なった。

2. 事業実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	2024/1/19 ~ 2024/1/20	ビジョンセンター 東京有楽町 301 号室	7 名	10 名
	b)	CxTE 講習	2023/8/25	オンライン開催	5 名	33 名
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2023/4 ~ 2024/3	BSCA 事務所	2 名	—
	d)	Cx 事例シンポジウム (BSCA 設立 20 周年記念)	2024/1/26	中部 ウィンク あいち 1301 会議室 +オンライン開催	8 名	72 名
			2024/2/16	東京 ビジョンセンター 浜松町 6 階 E +オンライン開催	8 名	53 名
			2024/3/1	関西 TKP ガーデンシティー 京都タワーホテル 6 階ナポリ・ミラノ +オンライン開催	8 名	75 名
	e)	Cx マニュアル (CD) の頒布	2023/4 ~ 2024/3	BSCA 事務所	2 名	12 名
	f)	総会付帯講演会	2023/5/15	WEB+東京	6 名	33 名
g)	技術交流会	2023/5/15	東京	4 名	35 名	
h)	Cx に関心を持つ者の集い	2023/9/7	福井大学	2 名	17 名	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	CxPE のフォーラム活動	2023/4 ~ 2024/3	事務局	4 名	約 100 名
	b)	ホームページの整備充実	2023/4 ~ 2024/3	事務局	4 名	約 1000 名
	c)	コミッションングレターの発行	2023/4 ~ 2024/3	事務局	7 名	約 1000 名
	d)	空気調和・衛生工学会大会 ブース出展	2023/9/6 ~ 2023/9/8	福井大学 文京キャンパス	3 名	約 100 名
e)	企画・運営委員会活動	2023/4 ~ 2024/3	BSCA 事務所他	31 名	—	

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(3) 調査研究・技術支援事業	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、Cx 過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。				
	a) 海外調査・国際交流	2023/4 ～2024/3	BSCA 事務所他	6名	同上
	b) 技術委員会活動	2023/4 ～2024/3	東京	1名	建築関係者
	c) 他団体との協働活動参画	2023/4 ～2024/3	東京	4名	40名
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業				会員、市民、建築関係者、不特定
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。				
	a) 建築設備コミッショニングマニュアル改訂委員会	2023/4 ～2024/3	Web 会議他	22名	
	b) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング(施工フェーズ)	2022/7 ～2025/3	東京・Web 会議他	6名	
	c) 事業委員会活動	2023/4 ～2024/3	BSCA 事務所他	12名	
(5) 共催・協賛事業					会員、市民、建築関係者、不特定
他団体への共催、後援、協賛事業により Cx の普及を目指す。	2023/4 ～2024/3				

3. 事業の概要

(1) 人材育成事業

a) CxPE (性能検証技術者) 資格研修会

CxPE 資格研修会を 2024 年 1 月 19 日～20 日に東京にて開催した。2 年ぶりの開催として、10 名の受講者が参加した。すべての受講者を修了試験にて合格と判定した。新規受講者 10 名が登録をして CxPE 登録者は総計 108 名となった。

b) CxTE (性能検証専門技術者) 講習

2023 年 8 月 25 日に、第 12 回目となる CxTE 講習会を開催した。新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年度も引き続きオンライン開催とした。

講習会には 33 名(うち、TE-A のみ受講者が 3 名)の受講者が参加して、全員が全ての講義を受講し、33 名に CxTE 講習の修了証を授与した。また、2023 年度に新たに CxTE 登録した会員は 5 名 (今年度受講者 4 名と前年度受講者 1 名) であり、累計で 68 名となった。

c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

1) 認証検討委員会

受講者全員に修了証を発行した。

2) 資格判定委員会

CxPE 資格研修会で使用する試験問題を決定し、資料の作成を行なった。研修会終了後は、CxPE 資格研修小委員会を開催し、採点を行なった。CxPE については、2024 年 4 月に外部委員を交えた資格判定委員会を開催し、2023 年度の CxPE の合否判定を行った。

d) Cx 事例シンポジウム(BSCA 設立 20 周年記念)

中部では、2024 年 1 月 26 日に BSCA 設立 20 周年記念シンポジウム in 中部「ビル用マルチパッケージ型空調の適正な設計とコミショニング」と題して開催し、基調講演「令和 6 年 4 月より始まる改正建築物省エネ法による規制強化～非住宅建築物の新基準に適合させるための外皮・設備設計仕様とは～」のち、2 名の講師により「ZEB Ready 達成を目指すための個別分散空調システム設計法ガイドライン」作成を目指した研究についての講演を行い、適正な個別分散空調システムの設計と Cx の必要性を確認した。会場参加と WEB 併用のオンライン開催として 72 名 (内 WEB 38 名) の参加があった。

東京では、2 月 16 日に BSCA 設立 20 周年記念シンポジウム in 東京「コミショニングの推進を目指して」と題して、設計事務所やインハウスエンジニアといった立場からコミショニングに携わった方々を講師に迎えて、「コミショニング事例」について講演を行った。会場参加と WEB 併用のオンライン開催として、53 名 (内 WEB 18 名) の参加があった。

関西では、3 月 1 日に BSCA 設立 20 周年記念シンポジウム in 関西「コミショニングビジネスの拡がりを目指して」と題し、その第 1 部の「トータルコミショニングプロジェクト事例紹介」において立命館大学施設の空調熱源改修工事例を、第 2 部として「コミショニングビジネスの拡がり」というテーマで国内の米国資本の施設の Cx 事例を 2 件 (内 1 件は英語) と多数のビルを所有するオーナーによるインハウス Cx について講演が行われた。会場参加と WEB 併用のオンライン開催として 75 名 (内 WEB 25 名) の参加があった。

e) Cx マニュアル (CD) の頒布

2020年10月発行「建築設備コミッショニングマニュアル」改訂第4版の販売を継続した。

f) 総会付帯行事としての講演会

2023年5月15日の総会後に、総会付帯行事として実会合とオンラインを併用したハイブリッド形式で講演会を開催した。講演は環境省大臣官房環境経済課・鎮西武氏より「環境配慮契約法のめざすもの」、県立広島大学・小林謙介准教授より「カーボンニュートラルにむけた LCCA の最新動向」の2題の講演を行った。

g) 技術交流会

総会・講演会の後に、賛助会員会を兼ねた「技術交流会」を開催した。来賓の方々から挨拶を頂戴し、終始和やかに会員間で情報交流が図られた。

h) Cx に関心を持つ者の集い

2023年9月7日に「コミッショニングに関心を持つ者の集い」を福井市にて開催した。空気調和衛生工学会大会二日目に開催する「集い」は2019年の空気調和衛生工学会大会（北海道）以来、4年ぶりの開催となり大学関係者7名、行政関係者1名、民間企業関係者8名、当協会事務局1名の合計17名が参加した。

(2) 性能検証普及事業(企画・運営委員会)

a) CxPE のフォーラム活動

東京（2023年7月4日）と大阪（2024年3月6日）でCxPE座談会を開催し「Cxの普及」や「設計者、施工者からみたCx」について議論を行った。CxPEとしての現在の活動の状況、今後の活躍の方向性等を意見交換し、コミッシュォニングレターにて発信した。なお、今年度はCxPE資格を有していないCx経験者も対象に加え、「Cxを普及定着させるにはどうしたらいいのか」というテーマでもディスカッションを行った。

b) ホームページの整備充実

2023年10月及び2024年3月にホームページの部分的なりニューアルを行った。2024年3月のリニューアルではCxを判りやすく紹介する資料の追加を行った。

c) コミッシュォニングレターの発行

Cx関連の情報・動向を取材することに注力し、コミッシュォニングレターの月1回発行を継続した。

d) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

空気調和・衛生工学会大会が9月6日~8日に福井大学で開催され、技術展示会場に協会展示ブースを出展し、広報活動を行った。

e) 企画・運営委員会活動

委員会を年6回開催し、下記活動の実施内容について審議してそれぞれの活動に繋げた。

1) 会員特典の整備

会員限定の情報提供（Cx文書事例、Cxツールなど）を検討した。

2) CxTE登録者の促進とCxFの登録の促進

CxTE講習会を例年通り開催して、登録者の促進を図った。また、Cx事例シンポジウムの発表などにおいて、CxF登録制度を紹介して登録の推進、賛助会員の増加を図った。

3) 各種団体へのCxの普及活動

オーナーサイドへのCx普及活動の一環として、2021年度に作成、2022年度にリバイスした「コミッシュォニング紹介資料（オーナー向け）」をホームページへ掲載した。

(3) 調査研究・技術支援事業

a) 海外調査・国際交流

2023年6月に第2回 APBCx (Asia Pacific Building Commissioning Symposium) を中国の関係学協会の主催で開催する予定で準備を進めていたが、諸般の事情で開催できなかった。このシンポジウムは、アジア・太平洋地域の国・地域が取り組んでいる Cx の事例、研究、事業、規制などの情報を共有し、それぞれの商習慣に適した Cx の仕組みの構築や普及につなげ、建築物の省エネルギーやカーボンニュートラルの実現に寄与することを目的として、日本、中国、香港の関係学協会が隔年の持ち回りで主催することになっており、第1回(2021年5月開催)は BSCA が主催した。

また、国際エネルギー機関 IEA の研究活動である、IEA/EBC/ Annex81: 「Data-Driven Smart Building (データ駆動型スマートビルディング)」の日本委員会に、当協会から幹事委員を派遣し、研究支援を行った。

さらに、ASHRAE Japan Chapter が主催した Distinguished Lecture “Commissioning: The What, Why and How.” (Instructor: Jim Vallort 氏, 日時: 2024年1月12日) を共催し、Cx に関する意見交換などを通じて交流を深めた。

b) 技術委員会

性能検証に関する調査研究及び技術支援事業として、公益社団法人空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会と情報共有を継続して活動した。

c) 他団体との協働活動参画

国立研究開発法人建築研究所、一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター (IBECs) が企画・運営する「住宅・建築分野の省エネ・省 CO₂・環境技術体系確立を目指す研究開発プロジェクト初期調整委員会 (略称: 初期調整委員会)」に、当協会から委員長として吉田名誉理事長、委員として4名 (柳原理事長、赤司副理事長、松下理事、山田博氏) が参画し、Cx 手法を適用した業務用建築物の省エネルギーの新たな評価手法の検討を行った。変流量・変風量空調システム (VWV・VAV システム) の設計・施工及び初期調整・試験方法に関する技術解説書をまとめた。この技術解説書は、IBECs のホームページからダウンロード可能である。

(4) 基準制定・検証事業

a) 建築設備コミッシュンングマニュアル改訂委員会

2016年度に発行した「建築設備コミッシュンングマニュアル」の簡易改訂の中で挙げた「Cxの普及に向けてプロセスを整理して、より適切な解説にすべき」などの意見について、次世代を担う新任の編集委員の参画を求めて、第4版の改訂作業を行った。

b) 東急電鉄田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴う Cx（施工フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2022年7月～2025年3月
- ・ 担当者：吉田治典（名誉理事長）、木虎久隆（事務局長）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

設計フェーズ終了後、東急電鉄田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事の Cx(施工フェーズ)を行った。吹出口モックアップ試験結果の確認、シミュレーションによる設定値の検討、ポイントネーミング等について議論を行った。また試運転調整、機能性能試験についても施工者を交えた関係者で確認を行った。

c) 事業委員会

新たな受託物件や公共建築物のコミッシュンングに向けた議論を行った。

(5) 共催・協賛事業

a) 共催・協賛

- ・共催事業：ASHRAE 日本支部講演会

ASHRAE Japan chapter Distinguished Lecture

「Commissioning :The What, Why and How. 」

2024 年 1 月 12 日

b) 後援

- ・後援事業：空気調和・衛生工学会、ガイドライン説明会、2023 年 7 月 31 日

「SHASE-G0023-202 建物エネルギーシミュレーションツールの評価手法に関するガイドライン」

- ・後援事業：一般社団法人日本建築学会主催シンポジウム、2023 年 10 月 13 日

「第 19 回 建築設備シンポジウム「環境建築とヒト・まち・社会」

- ・後援事業：一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター、2023 年 11 月 6 日

「非住宅建築物の熱源機器容量設計手法の再考～事例と研究からみた課題と対策～」

- ・後援事業：特定非営利活動法人地中熱利用促進協会主催フォーラム、2023 年 12 月 13 日～14 日

「第 4 回全国地中熱フォーラム～地中熱先進地域を目指して～」

(6) 理事会

理事会を 6 回開催し、総会付議事項、理事の互選による理事長の選出、事務局長の選任、建物オーナーへの Cx 推進の展開方法について審議し、方針を決定した。

4. 会計収支決算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

2023年度正味財産増減計算書

建築設備コミッションング協会

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科目	2023年度決算		増減額	備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業		
I 経常収益				
1 受取会費				
入会金収入	70,000	65,000	5,000	
正会員受取会費	2,170,000	2,250,000	-80,000	
賛助会員受取会費	5,050,000	5,100,000	-50,000	
計	7,290,000	7,415,000	-125,000	
2 受取寄附金				
受取寄附金	0	0	0	
計	0	0	0	
3 受取助成金等				
受取民間助成金	0	0	0	
計	0	0	0	
4 事業収益				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	660,000	560,000	100,000	
CxTE研修会(東京・WEB)	305,000	310,000	-5,000	
CxTE研修会(西日本)	0	0	0	
CxTE研修会(実務)	0	500,000	-500,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	438,000	550,000	-112,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	290,000	610,000	-320,000	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0	0	0	
Cx事例シンポジウム(中部)	289,000	560,000	-271,000	
ACSESS/Cxワークショップ	0	200,000	-200,000	
マニュアルの頒布	251,240	200,000	51,240	
技術交流会	110,000	150,000	-40,000	
Cx 集い	102,000	200,000	-98,000	
小計	2,445,240	3,840,000	-1,394,760	
2. 普及事業	0	0	0	
小計	0	0	0	
3. 研究・支援事業	0	0	0	
技術委員会	0	65,000	-65,000	
小計	0	65,000	-65,000	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx				
東急電鉄Cx 駒沢大学	10,000,000	10,000,000	0	
東急電鉄Cx 桜新町	0	0	0	
施工P	0	0	0	
小計	10,000,000	10,000,000	0	
5. その他	0	0	0	
小計	0	0	0	
計	12,445,240	13,905,000	-1,459,760	
5 その他収益				
受取利息	374	1,000	-626	
雑収益	0	10,000	-10,000	
計	374	11,000	-10,626	
経常収益計	19,735,614	21,331,000	-1,595,386	

科目	2023年度決算	2023年度予算	増減額	備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業		
II 経常費用				
1 事業費				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	667,617	1,060,000	-392,383	
CxPE座談会	77,669	216,000		
CxTE研修会(東京ZOOM)	94,455	160,000	-65,545	
CxTE研修会(西日本)	0	0	0	
CxTE研修会(実務)	434,862	355,000	79,862	
Cx事例シンポジウム(関西)	652,815	520,000	132,815	
Cx事例シンポジウム(東京)	350,935	300,000	50,935	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	4,064	2,500	1,564	サーバドメイン維持費
Cx事例シンポジウム(中部)	285,435	420,000	-134,565	
ACSES/Cx公開ワークショップ	0	200,000	-200,000	
マニュアルの頒布	12,160	100,000	-87,840	
総会付帯講演会	45,600	60,000	-14,400	
技術交流会	186,230	230,000	-43,770	
Cx 集い	122,165	200,000	-77,835	
資格判定委員会	0	210,000	-210,000	
小計	2,934,007	4,033,500	-1,099,493	
2. 普及事業				
ホームページ	286,200	770,000	-483,800	
コミッションングレターの発行	90,330	300,000	-209,670	
空調調和・衛生工学会大会ブース出展	103,710	180,000	-76,290	
CxF登録制度小委員会	0	50,000	-50,000	
企画・運営委員会及び広報担当	146,110	180,000	-33,890	
小計	626,350	1,480,000	-853,650	
3. 研究・支援事業				
海外調査	50,330	200,000	-149,670	
技術委員会	2,062,752	2,050,000	12,752	
小計	2,113,082	2,250,000	-136,918	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx事業				
東急電鉄Cx 駒沢大学	3,480,169	8,150,000	-4,669,831	
東急電鉄Cx 桜新町	0	0	0	
事業委員会	1,688,319	50,000	1,638,319	
マニュアル校正	797,135	1,050,000	-252,865	
小計	5,965,623	9,250,000	-3,284,377	
5. その他	0	0	0	
小計	0	0	0	
事業費計	11,639,062	17,013,500	-5,374,438	

科目	2023年度決算	2023年度予算	増減額	備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業		
2 管理費				
旅費交通費	141,730	150,000	-8,270	
通信運搬費	649,760	700,000	-50,240	
消耗品費	49,452	100,000	-50,548	
什器備品	0	100,000	-100,000	
会議費	312,371	250,000	62,371	
印刷製本費	75,471	100,000	-24,529	
租税公課	157,332	400,000	-242,668	
支払手数料	61,160	80,000	-18,840	
雑給	0	0	0	
諸会費	95,875	100,000	-4,125	
家賃	402,600	402,600	0	
修繕費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
支払報酬	426,468	420,000	6,468	
事務外注費	4,060,000	4,147,000	-87,000	
事務管理費	200,000	300,000	-100,000	
減価償却費	515,533	380,000	135,533	
管理費計	7,147,752	7,629,600	-481,848	
経常費用計	18,786,814	24,643,100	-5,856,286	
I, II 当期経常増減額	948,800	-3,312,100	4,260,900	
III 経常外収益				
1 固定資産売却益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
IV 経常外費用				
1 過年度損益修正損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
III, IV 当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期正味財産増減額	948,800	-3,312,100		
法人税、住民税及び事業税	70,000	71,000		
当期正味財産増減額	878,800	-3,383,100		
前期繰越正味財産額	52,260,132	52,260,132		
次期繰越正味財産額	53,138,932	48,877,032		

2023年度 貸借対照表

建築設備コミッションング協会

2024年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	52,222,403		
売掛金／未収金	10,000		
棚卸資産	0		
貯蔵品	0		
前払費用	544,390		
未収入金	0		
流動資産合計		52,776,793	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	200,880		
減価償却累計額	-200,880		
有形固定資産計		0	
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア等	502,518		
無形固定資産計		502,518	
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		
長期前払費用	0		
投資その他の資産計		180,000	
固定資産合計		682,518	
資産合計			53,459,311
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	19,817		
前受会費	0		
預り金	300,562		
仮受金	0		
流動負債合計		320,379	
2 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			320,379
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		52,260,132	
税引後当期正味財産増減額		878,800	
正味財産合計			53,138,932
負債及び正味財産合計			53,459,311

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「III 正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

I 資産の部	
1 流動資産
II 負債の部
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	
指定正味財産合計	×××
2 一般正味財産	
一般正味財産合計	○○○

2023年度 財産目録

建築設備コミッションング協会

2024年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		備 考
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
三菱UFJ銀行普通預金	64		
三菱UFJ銀行普通預金	17,275,792		
ゆうちょ銀行普通預金	1,182,996		
三井住友銀行	4,035,863		
池田泉州銀行	0		
みずほ銀行	29,727,688		
現預金計	52,222,403		
未収金			
売掛金/未収金	10,000		
貯蔵品	0		
棚卸資産			
未収金計	10,000		
前払費用	544,390		
前払費用計	544,390		
仮払金	0		
仮払金計	0		
流動資産合計		52,776,793	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェアなど	502,518		
無形固定資産計	502,518		
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		ATC保証金
長期前払費用	0		
投資その他の資産計	180,000		
固定資産合計		682,518	
資産合計			53,459,311
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	19,817		
前受会費	0		
預り金			
源泉所得税預り金	300,562		
仮受金	0		
流動負債合計		320,379	
2. 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			320,379
正味財産			53,138,932

5. 監査報告

2023年度の特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会の事業報告、活動予算書及び財産目録等について、関係書類と共にその内容を監査した結果、法令及び定款に照らして、適正であることを認めます。

2024年4月16日

監 事

高瀬 知章

高橋 直樹

第2号議案「第21期事業計画(案)及び 予算(案)に関する事項」

2024年度事業計画案(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

1. 事業実施の方針

会員と賛助会員組織に対してCxに関する技術やCx事業を推進するための情報提供を行い、Cxを広めることにより社会に貢献する。2024年度は下記の活動を計画する。

人材育成事業については、CxPE(性能検証技術者)資格研修会の開催を検討する。CxTE(性能検証専門技術者)講習会はWEBにて開催する。また、新たな取り組みとして建築設備を模擬的に試験できる施設を活用した体験型CxTE研修会を東京で開催する。

事例シンポジウムを関西、中部、東京で開催する。ここで紹介するCx事例に関しては、可能な限り収集データや実測データに基づいた図表によりCx効果を見える化し、参加者にわかり易いものとする。Cxでの活用を目指して開発された空調システムエネルギーシミュレーションツールACSES/Cx(Air-Conditioning System's Energy Simulation for Commissioning)の利用方法に関するパーソナルトレーニング講習を実施する。総会については実会合・オンライン併用のハイブリッド形式で行い、附帯事業の講演会および技術交流会を開催する。

性能検証普及事業については、当協会のホームページにおけるCx技術資料等の会員向けコンテンツの充実を図る。昨年同様に、CxPEとしての活動の活性化を目指して、CxPE相互の意見交換のため座談会を開催する。省エネルギー・省CO₂にはCxプロセスが有効であることを公共建築部門や民間の建築オーナー団体に理解して貰うため、当会のホームページに掲載した「コミッショニング紹介資料(オーナー向け)」をもとに、オーナーへ直接配布・解説する活動を行う。コミッショニングレターの発刊は例年通り実施する。本年は、空気調和・衛生工学会大会でのコミッショニングの集いや学会ブース出展などをコロナ禍以前と同様に実施する。

調査研究及び技術支援事業については、Cxに関する国際会議への参加者や海外在住者による情報収集活動を支援する。第2回以降のAsia Pacific Building Commissioning Symposium(APBCx)の充実とともに共同実施の中国、香港の関係団体との連携強化を図っていく。技術委員会活動としては、空気調和・衛生工学会のCx委員会や同小委員会と連携してCxの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し学会と連携してシンポジウムなどで公開する。

基準の制定及び検証事業については、Cx業務の実例や経験を参考にして2016年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」の改訂作業を完成し、年度内に改訂版を発刊する。当協会に特命で依頼された先導的Cx業務の充実を図るとともに、調査研究業務を受託し、その活動成果やノウハウをCxに関わる人材育成や実務資料の集成に活かすと共にシンポジウムなどを通じて公表する。

さらに、今年度は国土交通省の環境・ストック活用推進事業として、既存建物の省エネ・省CO₂対策に係るニーズ調査や事例調査に基づく各種分析等をもとにCxガイドラインを作成するとともに、シンポジウムを開催する。

昨年度と同様、各理事の担当業務を明確にし、事業計画を理事が中心になり策定し、それを企画・運営委員会を通して実施するようガバナンス体制をより強固にする。

2. 事業実施計画に関する事項

特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	2024/12	大阪開催	10名	8名
	b)	CxTE 講習	2024/7	オンライン開催	5名	15名
		CxTE 実務講習	2024/10	建物施設	5名	5名
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2024/4 ～2025/3	BSCA 事務所他	10名	—
	d)	事例シンポジウム	2024/12	関西 +オンライン開催	10名	90名
			2025/1	中部 +オンライン開催	10名	90名
			2025/2	東京 +オンライン開催	10名	90名
	e)	ACSES/Cx パーソナルトレーニング	2024/5 ～2025/11	オンライン開催	3名	10名
f)	Cx マニュアル (CD) の頒布	2024/4 ～2025/3	BSCA 事務所	3名	30名	
g)	総会付帯講演会	2024/5	総会会場	10名	40名	
h)	技術交流会	2024/5	開催	10名	20名	
i)	Cx に関心を持つ者の集い	2024/9	佐賀大学	4名	40名	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	CxPE のフォーラム活動	2024/4 ～2025/3	事務局	4名	約100名
	b)	ホームページの整備充実	2024/4 ～2025/3	事務局	4名	約1000名
	c)	コミッションングレターの発行	2024/4 ～2025/3	事務局	7名	約200名
	d)	空気調和・衛生工学会大会ブース出展	2024/9	佐賀大学	3名	約100名
e)	企画・運営委員会活動	2024/4 ～2025/3	BSCA 事務所他	31名	—	
(3) 調査研究・技術支援事業	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、Cx 過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。					
	a)	海外調査・国際交流	2024/4 ～2025/3	BSCA 事務所他	1名	同上
	b)	技術委員会活動	2024/4 ～2025/3	東京	5名	建築関係者
c)	他団体との協働活動参画	2024/4 ～2025/3	東京	4名	建築関係者	

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。					
	a)	建築設備コミショニングマニュアル改訂委員会	2024/4 ～2025/3	Web 会議他		22 名
	b)	田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミショニング（施工フェーズ）	2022/7 ～2025/3	東京・Web 会議他		6 名
	c)	R6 年度国土交通省 環境・ストック活用推進事業	2024/4 ～2025/3	Web 会議他		8 名
d)	事業委員会活動	2024/4 ～2025/3	BSCA 事務所他	12 名		
(5) 共催・協賛事業					会員、市民、建築関係者、不特定	
	他団体への共催、後援、協賛事業により Cx の普及を目指す。	2024/4 ～2025/3				

3. 活動計画の概要

非営利活動に関する活動計画の概要を述べる。

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

CxPE（性能検証技術者）資格研修会は、2024年度については大阪での実施を検討する。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習

CxTE（性能検証専門技術者）講習会は、受講者を全国から募ることも考慮して2023年度に引き続きオンラインによる講習を開催する。また、新たな取り組みとして、実際の建物の設備システムを模した装置による機能性能試験の実務演習の開催を予定する。

c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

CxPE（性能検証技術者）の資格判定委員会を実施する。

d) Cx 事例シンポジウム

- ・ 関西では、CxPE 資格者がビジネスとして行った Cx プロジェクト事例を紹介するシンポジウムを開催する。開催時期は2024年12月に実施する。
- ・ 中部では、Cxの普及を目指し、オーナー、地方自治体、設計者、施工者、メンテナンス業者、地元企業など、Cxプロセスに関わる様々なステークホルダーに対し、Cx事例を紹介しプロセスの適用とその効果を説明し意見交換を行う。開催時期は2025年1月に実施する。
- ・ 東京では、Cxの普及展開を目指して、実際のプロジェクト案件を中心に事例紹介を計画する。開催時期は2025年2月に実施する。

e) ACSES/Cx パーソナルトレーニング

Cxに活用するという視点で開発されたシミュレーションツールACSES/Cx(Air-Conditioning System's Energy Simulation for Commissioning)を一昨年オープンソースツールとして一般公開し、利用方法に関するワークショップを開催した。今年度は、本ツールに関するパーソナルトレーニング講習を実施する。開催時期は2024年10月からとし、参加者10名程度を予定する。

f) Cx マニュアル (CD) の頒布

2020年10月発行「建築設備コミッショニングマニュアル」改訂第4版の販売を継続する。さらに、改訂版第5版の発刊と販売の早期実現を目指す。

g) 総会付帯行事としての講演会（2024年5月）

総会後に、リアルとWEBでの特別講演会を実施する。講演は、Arup 菊地雪代氏「サーキュラーエコノミー時代の建築（仮）」、東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門・大岡龍三教授「AI時代におけるコミッショニング（仮）」を企画する。

h) 技術交流会

総会・講演会の後に、賛助会員会を兼ねた「技術交流会」を企画する。

i) Cxに関心を持つ者の集い

9月に開催される空気調和・衛生工学会大会に合わせ「コミッショニングに関心を持つ者の集い」を開催し、会員の技術交流と会員増強の一助とする。

(2) 性能検証普及事業

a) CxPE のフォーラム活動

CxPE としての現在の活動の状況、今後の活躍の方向性等を意見交換し、CxPE としての活動の活性化を図ることを目的とした座談会を東京・大阪で開催する。

b) ホームページの整備拡充

定期的にホームページの部分的なリニューアルを実施する。今年度は、Cx 技術資料等の会員向けコンテンツの充実を行う。

c) コミッショニングレターの発行

Cx 関連の情報・動向を取材することに注力し、コミッショニングレターの月 1 回の発行を継続する。

d) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

空気調和・衛生工学会大会期間中に協会展示ブースを技術展示会場に出展し、広報活動を行う。今年度は展示方法を従来のパネル展示より、ディスプレイを用いた動画展示への変更を検討する。

e) 企画・運営委員会活動

1) 会員特典の整備

会員に限定した情報提供（Cx 文書事例、Cx ツールなど）を検討する。

2) CxTE および CxF への登録の促進

Cx 事業の事例発表シンポジウムなどで CxTE および CxF の登録制度を広く紹介して登録を働きかけ、会員および賛助会員の増加を図る。

3) 各種団体への Cx の普及活動

- ・ Cx のさらなる認知度の向上を目指し、2022 年度にリバイスし、2023 年度に当会のホームページに掲載した「コミッショニング紹介資料（オーナー向け）」を活用し、オーナーへ直接配布・解説する活動を行う。
- ・ CxF（コミッショニング事業者）が社会に定着することを目指し、各種団体に Cx 業務を実施する CxF の重要さを理解して貰う活動を行う。
- ・ 公共部門や民間の建物オーナーに、カーボンニュートラル事業に Cx プロセスが有効であることを説明し、カーボンニュートラル事業の施策の策定や運用に対するアドバイスを積極的に行う。

(3) 調査研究・技術支援事業

a) 海外調査・国際交流

Cxに関する国際会議への参加者や海外在住者による情報収集活動を支援する。

Cxに関する国際会議（例えば、全米コミッショニング会議（NCBC）など）の開催案内や、それらの会議への参加者から報告をコミッショニングレターに掲載し会員へ情報提供する。また、海外のCx組織（例えば、米国コミッショニング協会（BCA）など）との連携活動を検討する。Asia Pacific Building Commissioning Symposium（APBCx）はBSCAが主催・共催する隔年の国際会議であり、APBCxの充実化に向けて共同実施の中国、香港の関係団体との連携強化を図っていく。

国際エネルギー機関IEAの研究活動であるIEA/EBC/Annex81:Data-Driven Smart Building（データ駆動型スマートビルディング）の日本委員会（委員長：赤司泰義（東京大学）、当協会副理事長）には引き続き当協会から幹事委員を派遣し、研究支援を図っていく。

b) 技術委員会活動

空気調和・衛生工学会のCx委員会や同小委員会と連携してCxの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し公開していく。省庁、自治体、関係業界団体等の各所へコミッショニングとは何か、カーボンニュートラルに向けての必要性などを説明し理解を深めていただく。その際には、「カーボンニュートラル達成へ向けたコミッショニング（Cx）のススメ（BSCA作成）」や「成功事例集」を資料として活用することが有効であると思われ、「ススメ」のブラッシュアップ、「成功事例集」の作成などを行う。

c) 他団体との協働活動参画

国立研究開発法人建築研究所、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター（IBECs）が企画・運営する「住宅・建築分野の省エネ・省CO₂・環境技術体系確立を目指す研究開発プロジェクト初期調整委員会（略称：初期調整委員会）」に、引き続き当協会から委員長として吉田名誉理事長、委員として4名（柳原理事長、赤司副理事長、松下理事、山田博氏）が参画し、Cx手法を適用した業務用建築物の省エネルギーの新たな評価手法の検討を行う。今年度は、CO₂濃度制御について検討し、技術解説書をまとめる予定である。

(4) 基準の制定・検証事業

a) 建築設備コミッシュンングマニュアル改訂委員会

2016年度に発行した「建築設備コミッシュンングマニュアル」の簡易改訂の中で挙げた「Cxの普及に向けてプロセスを整理して、より適切な解説にすべき」などの意見について、2021年の新任の編集委員に引き続き参画を求めて、改訂第4版の編集のまとめ、および改訂第5版の発行を行う。

また、実際のコミッシュンングで作成された各種文書を抽出し、マニュアルの付属文書として編纂し、会員への公開版としてまとめる。

b) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッシュンング（施工フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2022年7月～2025年3月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、木虎久隆（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

設計フェーズ終了後、田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事の施工フェーズを継続して行う。竣工に先立ち施工者で試運転調整を行った結果を確認した後、機能性能確認フェーズに移行し機能確認試験を実施する。

c) R6年度国土交通省 環境・ストック活用推進事業（調査、普及・広報に関する事業）

- ・ 委託機関：国土交通省
- ・ 事業実施：2024年4月～2025年3月
- ・ 担当者：柳原 隆司、赤司 泰義、奥宮 正哉、浅利 直記、百田真史、松下 直幹、木虎 久隆、山口 弘雅、高瀬 知章、他

本事業は、住宅・建築物に係る先導的な技術の普及啓発に関する調査、普及の推進を目的とする補助金事業であり、BSCAは、建物所有者向けのCxガイドラインを作成・活用することによる建築ストックのカーボンニュートラル化に資する事業を提案し、採択された。既存建物の省エネ・省CO₂対策に係るニーズ調査や事例調査に基づく各種分析等をもとにCxガイドラインを作成する。また、ホームページでの情報発信やシンポジウムを開催し、建物所有者のCxの有効性の理解を深め、既存建物におけるCxの普及を目指す事業である。

d) 事業委員会活動

新たなCx関連業務の開発に努力する。

(5) 共催・協賛事業

他団体への共催、後援、協賛事業によりCxの普及を目指す。

4. 活動予算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

2024年度予算

建築設備コミッションング協会

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

科目	2024年度予算	2023年度予算	増減額	備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業		
I 経常収益				
1 受取会費				
入会金収入	65,000	65,000	0	
正会員受取会費	2,250,000	2,250,000	0	
賛助会員受取会費	5,100,000	5,100,000	0	
計	7,415,000	7,415,000	0	
2 受取寄附金				
受取寄附金	0	0	0	
計	0	0	0	
3 受取助成金等				
受取民間助成金	0	0	0	
計	0	0	0	
4 事業収益				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	560,000	560,000	0	
CxTE研修会(東京・WEB)	365,000	310,000	55,000	
CxTE研修会(実務)	700,000	500,000	200,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	550,000	550,000	0	
Cx事例シンポジウム(東京)	610,000	610,000	0	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0	0	0	
Cx事例シンポジウム(中部)	560,000	560,000	0	
ACCESS/Cxワークショップ	240,000	200,000	40,000	
マニュアルの頒布	200,000	200,000	0	
技術交流会	150,000	150,000	0	
Cx 集い	200,000	200,000	0	
小計	4,135,000	3,840,000	295,000	
2. 普及事業	0	0	0	
小計	0	0	0	
3. 研究・支援事業	0	0	0	
技術委員会	0	65,000	-65,000	
小計	0	65,000	-65,000	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx				
東急電鉄Cx 駒沢大学	12,000,000	10,000,000	2,000,000	
既存建物の省エネルギー・省CO2推進	20,000,000	0	20,000,000	
	0	0	0	
小計	32,000,000	10,000,000	22,000,000	
5. その他	0	0	0	
小計	0	0	0	
計	36,135,000	13,905,000	22,230,000	
5 その他収益				
受取利息	374	1,000	-626	
雑収益	0	10,000	-10,000	
計	374	11,000	-10,626	
経常収益計	43,550,374	21,331,000	22,219,374	

科目	2024年度予算	2023年度予算	増減額	備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業		
II 経常費用				
1 事業費				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	1,060,000	1,060,000	0	
CxPE座談会	216,000	216,000	0	
CxTE研修会(東京ZOOM)	300,000	160,000	140,000	
CxTE研修会(実務)	690,000	355,000	335,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	520,000	520,000	0	
Cx事例シンポジウム(東京)	300,000	300,000	0	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	2,500	2,500	0	サーバドメイン維持費
Cx事例シンポジウム(中部)	420,000	420,000	0	
ACSES/Cx公開ワークショップ	225,000	200,000	25,000	
マニュアルの頒布	100,000	100,000	0	
総会付帯講演会	60,000	60,000	0	
技術交流会	230,000	230,000	0	
Cx 集い	200,000	200,000	0	
資格判定委員会	360,000	210,000	150,000	
小計	4,683,500	4,033,500	650,000	
2. 普及事業				
ホームページ	670,000	770,000	-100,000	
コミッションングレターの発行	210,000	300,000	-90,000	
空調調和・衛生工学会大会ブース出展	180,000	180,000	0	
CxF登録制度小委員会	50,000	50,000	0	
企画・運営委員会及び広報担当	200,000	180,000	20,000	
小計	1,310,000	1,480,000	-170,000	
3. 研究・支援事業				
海外調査	200,000	200,000	0	
技術委員会	2,000,000	2,050,000	-50,000	
小計	2,200,000	2,250,000	-50,000	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx事業				
東急電鉄Cx 駒沢大学	16,200,000	8,150,000	8,050,000	
既存建物の省エネルギー・省CO2推進事業委員会	20,000,000	0	20,000,000	
マニュアル校正	1,140,000	50,000	1,090,000	
700,000	700,000	1,050,000	-350,000	
小計	38,040,000	9,250,000	28,790,000	
5. その他	0	0	0	
小計	0	0	0	
事業費計	46,233,500	17,013,500	29,220,000	

科目	2024年度予算	2023年度予算	増減額	備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業		
2 管理費				
旅費交通費	200,000	150,000	50,000	
通信運搬費	860,000	700,000	160,000	
消耗品費	100,000	100,000	0	
什器備品	100,000	100,000	0	
会議費	350,000	250,000	100,000	
印刷製本費	100,000	100,000	0	
租税公課	586,092	400,000	186,092	
支払手数料	120,000	80,000	40,000	
雑給	0	0	0	
諸会費	100,000	100,000	0	
家賃	402,600	402,600	0	
修繕費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
支払報酬	420,000	420,000	0	
事務外注費	4,600,000	4,147,000	453,000	
事務管理費	300,000	300,000	0	
減価償却費	502,518	380,000	122,518	
管理費計	8,741,210	7,629,600	1,111,610	
経常費用計	54,974,710	24,643,100	30,331,610	
I, II 当期経常増減額	-11,424,336	-3,312,100	-8,112,236	
III 経常外収益				
1 固定資産売却益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
IV 経常外費用				
1 過年度損益修正損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
III, IV 当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期正味財産増減額	-11,424,336			
法人税、住民税及び事業税	70,000			
当期正味財産増減額	-11,494,336			
前期繰越正味財産額	53,138,932			
次期繰越正味財産額	41,644,596			

第3号議案「役員の改選に関する事項」

1. 理事再任に関する事項

再任理事 大石晶彦君
再任理事 上谷勝洋君
再任理事 奥宮正哉君
再任理事 浅利直記君
再任理事 澤地孝男君
再任理事 田上賢一君
再任理事 松下直幹君
再任理事 赤司泰義君
再任理事 柳原隆司君

以上、9名

再任の理由 今期にて任期満了し、引き続き次期の理事に再任する。

2. 理事の新任に関する事項

新任理事 近本智行君
新任理事 馳平 心君
新任理事 丸山直子君

以上、3名

近本智行君の略歴

1966年生

現職 立命館大学 理工学部 建築都市デザイン学科 教授
立命館サステイナビリティ学研究センター センター長

経歴 1994年～2004年 株式会社日建設計
2004年～現在 立命館大学

馳平 心君の略歴

1972年生

現職 日本ファシリティ・ソリューション株式会社 技術企画室長
兼 都市プロジェクトマネジメント部

経歴 2006年～2020年 東京電力エナジーパートナー株式会社 法人営業部
2020年～現在 日本ファシリティ・ソリューション株式会社 技術企画業務に従事

資格 設備設計一級建築士、建築設備士、エネルギー管理士

丸山直子君の略歴

1970年生

現職 関西電力株式会社 ソリューション本部 副本部長

経歴 1993年～現在 関西電力株式会社 営業部門・人事部門にて従事

3. 監事再任に関する事項

再任監事 高瀬知章君

再任監事 高橋直樹君

以上、2名

再任の理由 今期にて任期満了し、引き続き次期の監事に再任する。

【3】報告事項

1. 特別会員に関する事項

中原信生 君

松田則雄 君

吉田治典 君

山本雄二 君

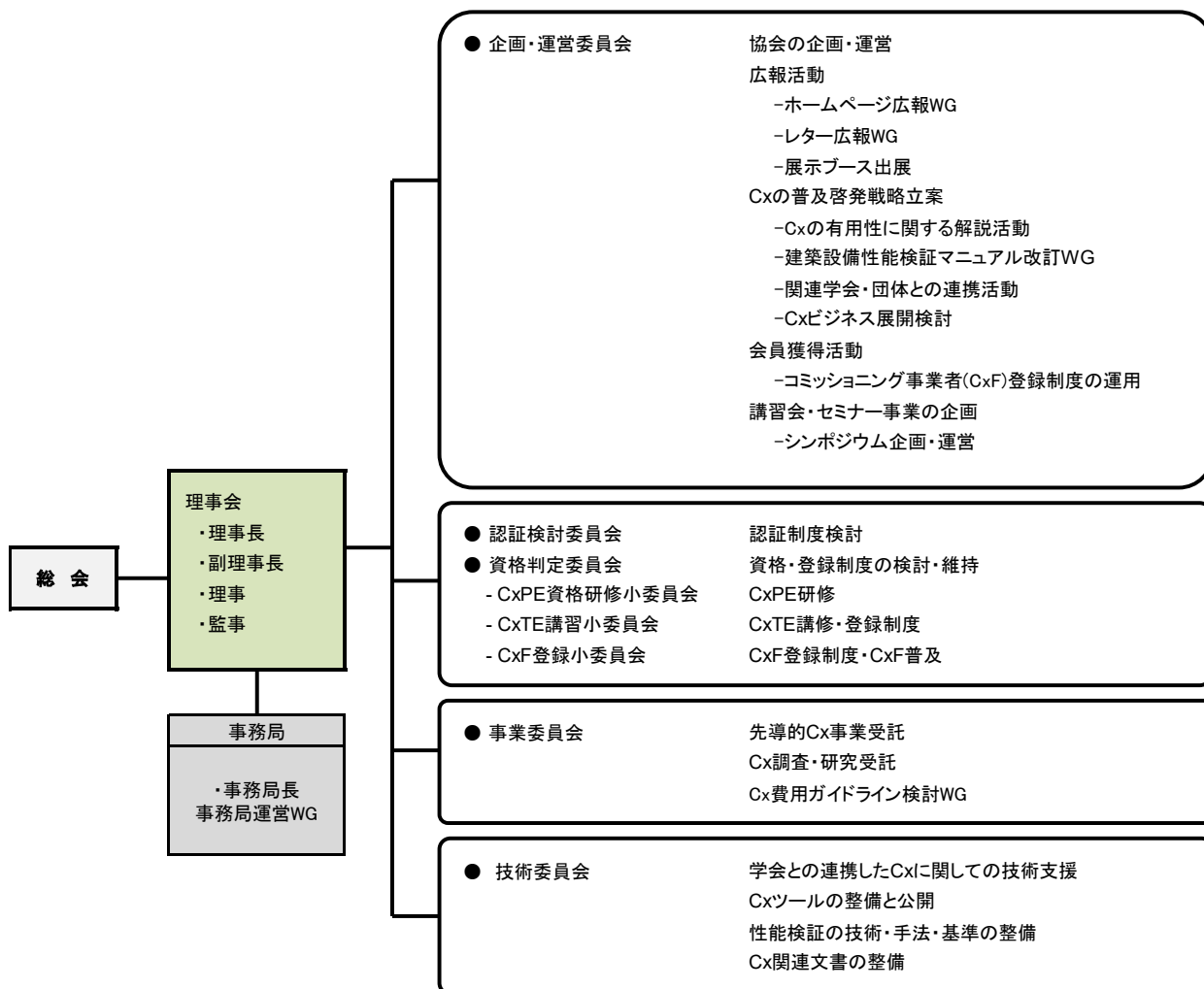
岡敦郎 君

以上5名を理事会の推薦により特別会員とする。

※「特別会員は、当法人の活動の発展に貢献できる者を理事が推薦し、理事会で特別に認めた個人の会員とする。」(会員規定より)

参考

[組織図]



BSGA 特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会
Building Services Commissioning Association

〒559-0034

大阪市住之江区南港北 2-1-10ATC/ITM 棟 11 階
Tel: 06-6614-0880 Fax: 06-6616-7098

URL: <http://www.bsca.or.jp/>